

老いても夢

いつの間にか「グリーンヒル」が歳を取り

ここに棲む人間たちも老い

管理人の代も重ね

洒落た造りの事務所も床や壁が痛み

十八棟の建物もその芯がもろくなつて来た

懸命に守つて来ても時間には勝てない

災害問題も盛んに話題となり

「列島沈没」も大袈裟ではなくなつた

幼い子供たちが姿を消し

道行く人も、腰が曲つたり

手車を押したり杖をついて、ゆっくり歩む

そんな姿が、桜や白木蓮の並木道に目立つようになった

若い人たちの跳び交う姿が見えなくなった

それでも

夏が来て、祭の季節になると

老いた頭や体で創り上げた舞台や神輿や屋台が

中央公園を彩る

厄介がられる程大きく育つた榊の木の下に

巣立つて行った子供たちが、孫を連れて帰って来た

一夜だけにせよ

さんざめくグリーンヒルが甦る

人間の野生には帰巢本能があるのだ

どーん、どんどん、という太鼓の音に

次第に育つて来た盆踊りの輪に

老いの舞台は若返り、いつときの血流が迸る

グリーンヒル再生の夢が、老いた情熱を甦らせる

一夜明け静まり返る団地に両足を据え

空を見上げて薄明かりの差す暁を見る

廃墟にはしない

寂しい隠居所にもしない

永遠に若いグリーンヒルの青写真を心に広げ

老いた僕らもずっと一緒に生きて行くのだ

緑の空気を揺する太鼓の音と共に

永遠にこの土地に住み着いて行くのだ

(2012.9.3 2012.10.25修正)